

伊那市・高遠町・長谷村
第14回合併協議会 会議記録（概要）

平成17年8月11日 午後2時00分
伊那市役所 全員協議会室

1. 開 会

事務局長（塚本哲朗）

2. 会長あいさつ

会 長（小坂樫男）：8月12日付けで伊那市・高遠町・長谷村の廃置分合の総務大臣官報告示が行われる、という連絡がありました。この1年間の皆さんのご協力に、改めて御礼を申し上げたいと思います。来年3月31日の合併に向けて、今後も決めなければいけない事項が残っていますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

6月25日と7月31日にそれぞれ、3市町村住民交流事業「地域の魅力探訪ツアー」の第2弾・第3弾を開催しました。参加された方からは、「改めて他の市町村の良さを知ることができた」などのご意見をいただいております。今後も秋口に向けて継続して開催していく予定です。また、三峰川サマーピクニックや高遠城下まつり、伊那まつり開催の際には、3市町村の住民の皆さんに多数ご参加いただき、住民交流を盛り上げていただきました。

本日は、前回ご提案申し上げた2項目についてご協議をいただきますので、よろしくお願ひします。

3. 協議事項

協議第72号（継続） 特別職の身分の取扱いについて

会 長（小坂樫男）：この項目については、別紙の「伊那市・高遠町・長谷村合併協議会特別職報酬等審議会委員」についても合わせてご協議をいただきたいと思ひいます。

事務局（三井栄二）：（特別職報酬等審議会委員について説明）

会 長（小坂樫男）：協議第72号については、提案のとおりでよろしいでしょうか。

・・・・・・異議なし・・・・・・

協議第81号（継続） 事務組織及び機構の取扱いについて

伊那市2号委員（藤島雄二）：本庁の部課数が現在の伊那市より2つ増えており、合併の行政改革効果が図られないのではないのでしょうか。また、本庁の建設部に「都市計画課」の新設が必要ではないのでしょうか。最後に、本庁の部課と総合支所の課の関係が図では不明確なので、一体感を持てるような組織図に工夫したらどうでしょうか。

総務部会長（池上謙長谷村総務課長）：部課数については、行革推進は合併の本筋であるということを基本に、効率的かつ最小限の部課となるよう考えた結果がこの組織図でありますので、そのようにご理解をいただきたいと思います。「都市計画課」については、建設課の中で対応できるものと考えています。本庁と総合支所の部課の関係については、本庁の部課長が総合支所の課も掌握するという事は当然に義務付けられると考えています。この図にはそうした連携を表す横線は引いていませんが、あくまでこれは「組織図」ということでご解釈をいただきたいと思います。

伊那市2号委員（藤島雄二）：伊那市では現在、保健師が全員本庁へ集合していますが、保健師を各支所に配置して、地域に密着した保健福祉の拠点にすることはできないでしょうか。また、駒ヶ根市では「こども課」が設置されていますが、新伊那市でも教育委員会の学校教育課と保健福祉部の子育て支援課を位置的にも近くして、連絡が取りやすいような形態にできないでしょうか。

会長（小坂樫男）：伊那市では以前、支所へ保健師を配置していましたが、やはり集中的な管理が必要だろう、ということで廃止した経過があります。このことについては、新しい理事者が決定をすればいいことだと思います。また、子育て支援については、保健福祉部に新設する「子育て支援課」で担当していくということですので、位置的な問題については今後の要望としてお聞きしておきます。

高遠町2号委員（原浩）：先ほど、これは「組織図」だから横線を引いていない、という説明がありましたが、合併したら地域が一体になった、ということが図に表れるように、本庁の部長の指示が総合支所の課長へストレートに伝わるような横線を引いた組織図を早急に提示して欲しいと思います。

伊那市2号委員（藤島雄二）：あまり線を入れてしまうと見にくくなるかも知れませんが、支所のあり方についても工夫して図面上に現れるようにしたらどうでしょうか。

長谷村2号委員（北原幸彦）：それについては、本庁の市民生活部から総合支所の市民生活課へ、というふうに、各自で横線を入れれば事が足りると思います。

総務部会長（池上謙長谷村総務課長）：本庁の部長だけでなく、本庁の課長も総合支所の課を総括する任務がありますので、そうした線を全て入れると図が複雑になりますし、書ききれない部分が出てきます。

会長（小坂樫男）：この問題は、支所や総合支所の権限や専代決事項などが決まらないと対応できないと思います。

事務局長（塚本哲朗）：専代決規程や職務規程、事務分掌規程などについては現在、作成中ですので、次回の合併協議会にそうした規程等も合わせて、指示系統を示す横線の入った組織図を提示するようにいたします。

会長（小坂樫男）：協議第81号については、提案のとおりでよろしいでしょうか。

・・・・・・異議なし・・・・・・

4. 報告事項

(1) 新市章デザイン募集について

事務局（山崎大行）：(資料を説明)

市章選定委員の選任等につきましては、正副会長会、幹事会等にご一任をいただき進めていきたいと考えています。

会長（小坂樫男）：市章選定委員の選任等については、正副会長会と幹事会にご一任をいただくということによろしいでしょうか。

・・・・・・異議なし・・・・・・

(2) 新市発足スケジュールについて

事務局（山崎大行）：(資料を説明)

必ずこの時期に行う、と決定されている事項ではありませんので、ご承知の上でご覧いただきたいと思います。

高遠町2号委員（原浩）：平成18年4月の欄に「新市長・新市議会議員選挙（50日以内）」とありますが、このことは5月の欄に記載してほしいと思います。

会長（小坂樫男）：選挙の期日については選挙管理委員会で決定をしますが、最終的には5月19日までに行われることとなります。4月と5月の間の線を取って表記するようにします。

(3) その他

・特になし

5. その他

会長（小坂樫男）：昨年9月7日に第1回の合併協議会が開かれてから約1年、委員の皆さんに大変なご協力をいただき中で、ようやく明日の官報告示に漕ぎ着けることができました。この機会に皆さんからご意見やご質問等がありましたら、お出しいただきたいと思います。

オブザーバー（牛越徹上伊那地方事務所長）：当地域は上伊那地区で唯一、合併に漕ぎ着けたということで、上伊那地方事務所としても本当にありがたいことですし、嬉しいことだと感じております。今後も細部の詰めの課題が残っていますので、来年3月31日の正式な新市のスタートに向けて、最後まで皆さんに熱心なご協議をいただくことを期待しています。

伊那市2号委員（藤島雄二）：市の歌についてはどうなりますか。

会長（小坂樫男）：新市発足以降に決定していきたい、という協議結果でした。

長谷村2号委員（佐藤八十一）：非常に短期間でここまで進めてきたので、いよいよ新市がスタートしてみると、困ることも出てくると思います。新市においてはやはり、住民の皆さんが「これは駄目だな」と思うことはすぐに訂正をし、調整していくようにしてほしいと思います。

副会長（伊東義人高遠町長）：短い期間での協議ではありましたが、新市発足ができる

ことは良かったと思っています。高遠町では、合併に不安を感じていることに対する懇談会を7月下旬に開きました。これまで合併に対してきめ細かく説明してきたつもりが、意外と浸透していない部分もあるということが分かりました。官報告示が出たので一丁上がり、ということではなく、その都度、住民の皆さんに説明会などを開催しながら、最後にはいい合併ができるように進めていきたいと思っています。

副会長（宮下市蔵長谷村長）：官報告示の段階になりましたが、長谷村でも全ての方が合併後の新市に対して十二分に理解をしているとは思えないこともあります。協議結果はお知らせをしてきましたが、これから更に地域自治区の役割や、住民が何を求めているのかを、懇談会を通してしっかりと見極めながら取り組んでいきたいと考えています。

6. 閉 会

（終了 午後2時50分）